



# 東京ベイ通信

## 感染症内科新設のご紹介

### 感染症内科のご紹介

平成 29 年 4 月より感染症内科が新設となりました。

感染症診療のトレーニングを受けた医師が感染症診療・感染対策を行っています。

入院診療では主に他科からのコンサルテーションを受け付け、患者さん一人一人に合った適切な感染症診療を提供できるよう、主治医のサポートをさせて頂いています。また、インフェクションコントロールチーム (ICT) の一員として感染管理認定看護師 (ICN)、薬剤師、臨床検査技師などと連携をとりながら、感染制御や適正抗菌薬使用を行なっています。

外来診療では肺炎、尿路感染症、感染性腸炎などの一般市中感染症に限らず、専門的な診療を要する感染症の診療が可能です。輸入感染症 (海外渡航後の発熱、下痢、皮疹など)、性行為感染症 (梅毒、淋菌、クラミジアなど)、結核 (主に肺外結核)、ウイルス感染症、真菌症、寄生虫症など幅広い疾患に対応できます。今後、体制が整い次第、HIV/AIDS 診療や渡航前相談・ワクチン相談も開始する予定です。



感染症内科 医長  
織田 錬太郎 (おだ れんたろう)

感染症外来	
外来日	毎週月曜日午後
	毎週金曜日午前

※休診日などについては、  
当院ホームページをご参照ください。



### 地域の先生方へ

感染症内科では幅広い感染症診療が可能です。

感染症の診断がついていない状態でも、原因不明の発熱や皮疹など、お困りの事があれば是非ご相談頂けたらと思います。地域の医療に貢献できるよう、日々精進して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

## 感染対策室について

感染対策室では、人から人を通して、感染性のある病原体が伝播して病気を悪化させることのないよう、感染対策として有効な手指衛生を中心に、来院される患者さんや面会の方々を守るため、病院で働く職員に対し、知識と技術の普及に努めています。

また、手指衛生が正しく行えているか看護師と共に直接現場を観察して、最も手指衛生を行っている部署に対し、表彰状を授与するなど、日ごろの感染対策への意識を高めることが、急性期病院として安全で安心な医療の提供につながると信じて活動しています。

今後とも当院の感染対策についてのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

